

企業会計基準公開草案第 40 号 (企業会計基準第 2 号の改正案)
「1 株当たり当期純利益に関する会計基準 (案)」、
企業会計基準適用指針公開草案第 36 号 (企業会計基準適用指針第 4 号の改正案)
「1 株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針 (案)」及び
実務対応報告公開草案第 32 号 (実務対応報告第 9 号の改正案)
「1 株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い (案)」の公表に対するコメント

企業会計基準委員会 (ASBJ) は、平成 21 年 12 月に公表された企業会計基準第 24 号「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」を受けての所要の改正のほか、会計基準のコンバージェンスの観点から、国際会計基準審議会 (IASB) における今後の検討でも影響を受けないと考えられる国際財務報告基準 (IFRS) との既存の差異や我が国の市場関係者から実務上の対応要請がある点について短期的に対応するため、企業会計基準第 2 号「1 株当たり当期純利益に関する会計基準」、企業会計基準適用指針第 4 号「1 株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」及び実務対応報告第 9 号「1 株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」の改正について審議を重ねてきたが、その結果を、4 月 2 日、公開草案として公表した。

経理委員会では、国際会計基準とのコンバージェンスに資することから同意するとして、本公開草案によってもコンバージェンスを達成されないと思われる 3 項目について意見を取り纏め、5 月 28 日、ASBJ 宛提出した。

企業会計基準公開草案第 40 号 (企業会計基準第 2 号の改正案)
「1 株当たり当期純利益に関する会計基準 (案)」、
企業会計基準適用指針公開草案第 36 号 (企業会計基準適用指針第 4 号の改正案)
「1 株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針 (案)」及び
実務対応報告公開草案第 32 号 (実務対応報告第 9 号の改正案)
「1 株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い (案)」の公表に対するコメントについて

2010 年 5 月 28 日
社団法人 日本貿易会
経 理 委 員 会

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

4 月 2 日に貴委員会より公表されました掲題公開草案につきまして、当会において検討致しました結果、下記の通り意見を提出させていただきますので、今後の審議においてご配慮いただきたく、宜しく願い申し上げます。

敬具

記

コンバージェンスに資することから同意したい。しかしながら、本公開草案によってもコンバージェンスを達成されない項目が存在すると思われるので、以下の点についても同時に改定すべきと考える。

- ・ 本邦基準では、1株当たり当期純損失の場合は潜在株式調整後1株当たり当期純利益は開示しないことになっているが、国際会計基準では開示を求められているため、開示する方向で検討すべきである。
- ・ 本邦基準で求められている1株当たり純資産の開示は、国際会計基準では求められていないため、開示の意義について議論した上で、削除することも検討すべきである。
- ・ 普通株式で決済するか現金で決済するかを選択できる契約についての取扱が国際会計基準には存在する(IAS第33号58-61項)が、本邦基準には存在しないため、追加する方向で検討すべきである。

以 上